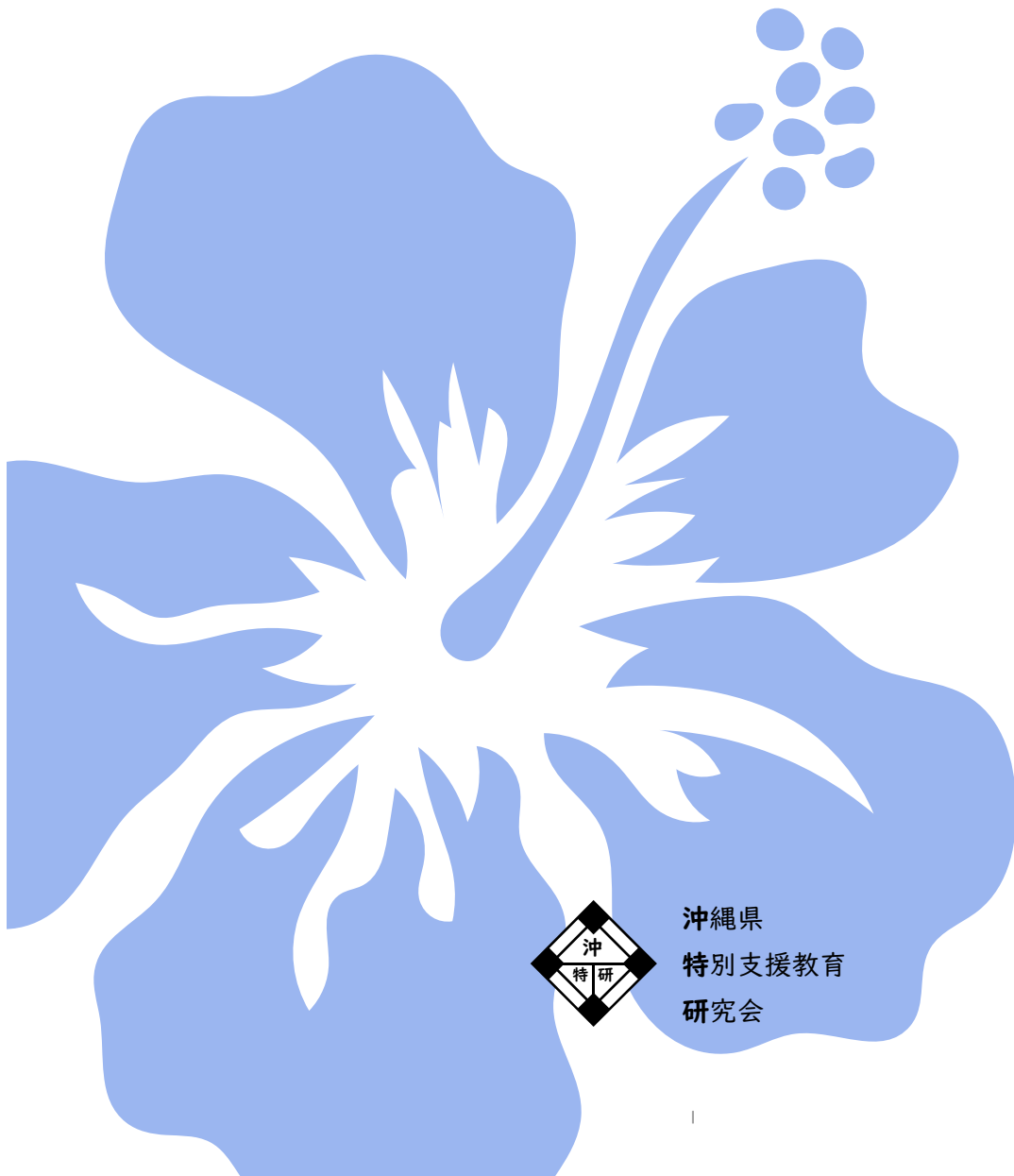


令和5年度

沖縄県特別支援教育研究会 研修会③および第2回評議員会

令和5年10月13日(金) 15:15-16:45

@Zoomミーティング



沖縄県
特別支援教育
研究会

司会：会長補佐 仲松 智（名護特別支援学校教頭）

〈時間の目安〉

〈ページ〉

15:00	開場・Zoom接続確認	
	※議決方法について事前にご確認ください	3
15:15	開会の言葉 副会長 與那覇 直樹（読谷中学校 校長）	
15:20	研修会③ 「学校現場で活躍するASD当事者から校長先生方へのメッセージ」 NPO法人東京都自閉症協会 綿貫 愛子 氏	別紙
	※質疑応答についてはオンデマンド配信のため、アンケートをとって後日もしくは 研修会④・⑤にてご回答いただきます	
16:00	第2回評議員会	
	議題① 第51回沖縄特研研究大会について	4-16
	《 質疑応答・決議 》	
	議題② 次年度以降の研究会運営	17-22
	《 質疑応答・決議 》	
	連絡事項① 会計進捗報告	23-25
	連絡事項② 今後の日程確認・そのほか	26-27
	《 質疑応答 》	
16:40	閉会の言葉 副会長 栗國 静夫（美咲特別支援学校 校長）	
16:45	閉場・アンケート回答	32

Zoomでの議決方法

オンラインでの議決方法については、Zoomの「投票」の機能を活用します。①事務局からの提案→②質疑応答→③議決という流れは従来通りです。

議決方法

1. 事務局より議題について提案
2. 質問がある場合は「チャット」または「反応（挙手）」で質問する
※ 詳細は別紙「Zoomかんたんマニュアル」を参照
3. 議題について「投票」で賛成／反対を選ぶ
 - 投票前に十分に考える時間を確保できない場合があります。提案・質疑応答の時間であらかじめお考えをまとめておいてください
 - 投票時間は1分を目安とし、投票率が参加者の8割を越えた時点で終了します
 - 賛成が投票数の過半数を越えた場合は「可決」とします
 - 匿名での投票は行えません
4. ホストより投票の結果が共有されます、確認後はウィンドウを閉じてください
5. 投票の結果は集約し、後日「記録」としてホームページで公開いたします

議題①について

1. 「賛成」「反対」のいずれかを選択してください(単一選択) *

賛成

反対

議題①について

アンケートが終了しました | 1件の質問 | 0/0 (0%) が参加しました

1. 「賛成」「反対」のいずれかを選択してください(単一選択) *

0/0 (0%) 回答しました

賛成	(0/0) 0%
反対	(0/0) 0%





令和5年度

第51回 沖縄県特別支援教育研究会 研究大会

《二次案内》

- **大会主題** 沖縄県における持続可能な特別支援教育の質の向上を目指して
～知的障害児の各教科等を通した多様な学びの保障～

- **開催趣旨**

近年の高度情報化やグローバル化といった急速な社会的変化、また新型コロナウイルスの流行に伴う社会構造の転換など、私たちはまさに予測困難な時代に直面しています。そのような社会においても子ども達が自らの生きる力を高め発揮し、主体的に社会に参加できるよう、特別支援教育においてはこれまで以上に質の高い教育の展開が求められています。

2022年9月、国連の障害者権利委員会が、障害者の権利条約に対する我が国の審査結果として、「障害のある子が分離された教育が続いている」などとされ、すべての子どもに対してインクルーシブ教育を確保するよう勧告。それを受け、文部科学省は多様な学びの場による特別支援教育の中止は考えていないとし、インクルーシブ教育システムの一層の推進に努めるとしています。

また、現行の学習指導要領では小・中学校特別支援学級及び特別支援学校において、各教科の内容の一層の充実による学びの連続性を重視した対応が必要とされています。

本研究会として、共生社会の実現に向けて知的障害のあるすべての子ども達の各教科等を中心とした多様な学びと多様な学びの場をどう保障するのか、県内各地からの実践報告や協議を深めることを通して互いに研鑽を深め、専門性を高めることにより、本県における持続可能な特別支援教育の質の向上を目指していきたいと考えています。

- **期 日** 令和5年12月15日(金) 9:15~16:30 (受付9:15~)
- **会 場** 沖縄県立名護特別支援学校 体育館 ほか
- **主 催** 沖縄県特別支援教育研究会
- **後 援** 沖縄県教育委員会 名護市教育委員会
沖縄県特別支援学校校長会
沖縄県小・中学校特別支援学級・通級指導教室設置校校長会
沖縄県特別支援学校 PTA 協議会 沖縄県情緒教育研究会
那覇・浦添地区中学校特別支援教育研究会
- **参加対象** 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教職員、保育園の職員、障害のある子を持つ保護者やご家族、そのほか特別支援教育に従事または関心のある皆さま
- **参加費用** 500円

● 日 程

時間	9:15-	9:45- 10:35	10:35-	11:30- 12:15	12:15- 12:45	12:45- 14:30	14:40- 16:30	散 会
日程	受付	公開授業 (2校時)	学校見学	昼食	開会行事	記念講演	分科会	

※昼食は各自でご用意ください。昼食会場はランチルームを開放いたします。

● 分科会

研究大会では下記の7つの分科会において、特別支援学級・特別支援学校より1件ずつ実践事例の提案があります。また提案後は、分科会ごとのテーマに沿った研究協議が行われ、専門家による指導助言を受けます。

分科会		テーマ
1	各教科等の指導 (小学校段階)	各学年の学びの連続性と系統的な学習内容による 教科別の指導の在り方
2	各教科等の指導 (中学校・高等学校段階)	各学校間の学びの接続を意識した教科別の指導の在り方
3	各教科等を合わせた指導	生活年齢に応じた生活に必要な生きる力の育成を目指した 各教科等を合わせた指導
4	キャリア教育・進路指導	義務教育段階からの一貫したキャリア教育の充実
5	自立活動	一人ひとりの教育的ニーズに応じた 知的障害児に必要な自立活動の指導
6	交流及び共同学習	共生社会の実現に向けた交流及び共同学習
7	ICT教育(課題別テーマ)	社会生活や日常生活への活用を促す ICT教育に係る教員の質の向上

● 記念講演

- (1) 演題 特別支援における育成すべき資質・能力を育む教育
～知的障害児の各教科等を中心とした教育のすすめ～
おまけ 8段階による自閉症児の障害特性の見極め

- (2) 講師 三浦 光哉 氏
山形大学教職大学院教育実践研究科 教授

● 申込方法

下記リンクまたは右掲のQRコードよりお申し込みください
<https://forms.office.com/r/6zQM3Ndcna>



※お申し込みは11月27日(月)までにお済ませください。
※分科会は第3希望まで取らせていただきます。
参加申込み人数次第ではご希望に添えない場合がありますことご了承ください。

《問い合わせ》



令和5・6年度 事務局
諸見里 知恵・田名 温
呉屋 光・伊良波 愛理
宮川 啓

名護市宇茂佐760番地
TEL: 0980-52-0505 FAX: 0980-54-1486
MAIL: okitokuken@as.open.ed.jp
HP: <http://www.okitokuken-as.open.ed.jp> →



第51回 沖特研 研究大会

令和5年12月15日(金)

沖縄県立名護特別支援学校

参加費
500円

【大会主題】

沖縄県における持続可能な特別支援教育の質の向上を目指して
～知的障害児の各教科等を通じた多様な学びの保障～

趣旨

近年の高度情報化やグローバル化といった急速な社会的変化、また新型コロナウイルスの流行に伴う社会構造の転換など、私たちはまさに予測困難な時代に直面しています。そのような社会においても子ども達が自らの生きる力を高め発揮し、主体的に社会に参加できるよう、特別支援教育においてはこれまで以上に質の高い教育の展開が求められています。

2022年9月、国連の障害者権利委員会による、障害者の権利条約に対する我が国の審査結果を受け、文部科学省は多様な学びの場による特別支援教育の中止は考えていないとし、インクルーシブ教育システムの一層の推進に努めるとしています。

また、現行の学習指導要領では小・中学校特別支援学級及び特別支援学校において、各教科の内容の一層の充実による学びの連続性を重視した対応が必要とされています。

本研究会として、共生社会の実現に向けて知的障害のあるすべての子ども達の各教科等を中心とした多様な学びと多様な学び場をどう保障するのか、県内各地からの実践報告や協議を深めることを通じて互いに研鑽を深め、専門性を高めることにより、本県における持続可能な特別支援教育の質の向上を目指していきたいと考えています。

対象

幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教職員、保育園の職員、障害のある子を持つ保護者やご家族、そのほか特別支援教育に従事、または関心のある皆さま

主催

沖縄県特別支援教育研究会

後援

沖縄県教育委員会
名護市教育委員会
沖縄県小・中学校特別支援学級・通級指導教室設置校長会
沖縄県特別支援学校PTA協議会
沖縄県情緒教育研究会
那覇・浦添地区中学校
特別支援教育研究会

記念講演

演題

特別支援における育成すべき資質・能力を育む教育
～知的障害児の各教科等を中心とした教育のすすめ～

おまけ 8段階による自閉症児の障害特性の見極め

講師

三浦 光哉 氏

山形大学教職大学院
教育実践研究科 教授



沖特研とは？

沖縄県特別支援教育研究会（沖特研）は、特別な教育的支援を必要とする知的障害のある幼児・児童・生徒の教育の発展と、実践研究の推進に寄与することを目的とし、昭和40年6月に「沖縄県特殊教育研究会」として設立されました。平成14年度に会の名称を「沖縄県特別支援教育研究会」に変更し、令和5年現在では、沖縄本島と宮古・八重山地方などの離島地域を含め、知的障害特別支援学級を設置する小・中学校8支部（地区の研究會を含む）と特別支援学校（高等特別支援学校を含む）13支部で組織されています。

沖特研の会員は、沖縄県内の知的障害学級を担当するすべての教員です。また上部組織として、九州地区特別支援教育研究連盟・全日本特別支援教育研究連盟があります。

スケジュール

時間	9:15-	9:45-10:35	10:35-	11:30-12:15	12:15-12:45	12:45-14:30	14:40-16:30	敷会
日程	受付	公開授業 (2校時)	学校見学	昼食	開会式	記念講演	分科会	

※昼食は各自でご用意ください。昼食会場はランチルームを開放いたします。

分科会とテーマ

研究大会では下記の7つの分科会において、特別支援学級・特別支援学校より1件ずつ実践事例の提案があります。また提案後は、分科会ごとのテーマに沿った研究協議が行われ、専門家による指導助言を受けます。

①各教科等の指導 (小学校段階)

各学年の学びの連続性と
系統的な学習内容による
教科別の指導の在り方

②各教科等の指導 (中学校・高等学校段階)

各学校間の学びの接続を
意識した教科別の指導の
在り方

③各教科等を合わせた指導

生活年齢に応じた生活に必要な生きる
力の育成を目指した各教科等を合わせた
指導

④交流及び共同学習

共生社会の実現に向けた交流及び共同学習

⑤キャリア教育・進路指導

義務教育段階からの一貫
したキャリア教育の充実

⑥自立活動

一人ひとりの教育的ニーズ
に応じた知的障害児に
必要な自立活動の指導

⑦ICT教育

社会生活や日常生活への活用を促すICT教育
に係る教員の質の向上

申し込み

- 申し込み方法： 下記リンクまたは右掲のQRコードよりお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/6zQM3Ndcna>

※お申し込みは 11月27日(月)までにお済ませください。

※分科会は第3希望まで取らせていただきます。

参加申し込み人数次第ではご希望に添えない場合がありますことご了承ください。



問い合わせ

令和5年度 沖縄県特別支援教育研究会



名護市宇茂佐760番地



okitokuken@as.open.ed.jp

事務局長 諸見里知恵 会計 田名温
呉屋光 伊良波愛理 宮川啓



0980-52-0505



0980-52-0505



<http://www.okitokuken-as.open.ed.jp>

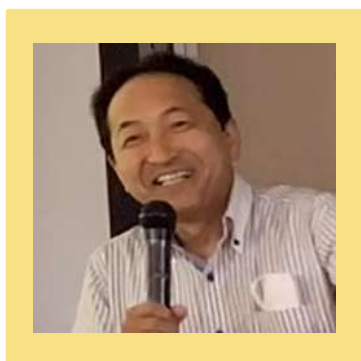


第51回 沖特研 研究大会 記念講演

演題

特別支援における育成すべき資質・能力を育む教育 ～知的障害児の各教科等を中心とした教育のすすめ～

おまけ 8段階による自閉症児の障害特性の見極め



沖縄が大好き
プロ野球阪神ファン

三浦 光哉 氏

山形大学 教職大学院
教育実践研究科 教授

主なご経歴

東北大学大学院博士課程満期退学、
宮城県公立小学校教諭、
宮城教育大学附属養護学校教諭、
宮城教育大学非常勤講師、
山形大学教育学部助教授、
山形大学地域教育文化学部教授を経て現職。

- 名古屋市特別支援学校
運営アドバイザー
- 山形県発達障害者支援
施策推進委員会委員
などを歴任。
- 特別支援教育士SV
- 学校心理士SV

所属学会・委員会

日本特別支援教育オンライン学会 会長
特別支援教育実践研究学会 副会長
山形K-ABCアセスメント学会 常任理事
名古屋市立特別支援学校の在り方検討委員会 座長

監修・編著

- ・『特別支援学校が目指すカリキュラム・マネジメント
～参画チェックリストと7つの要素を動かす15の仕掛け～』
- ・『知的障害教育の「教科別の指導」と「合わせた指導」
新学習指導要領を踏まえた19の学習指導案』 など



沖縄県
特別支援教育
研究会

第51回 沖縄県特別支援教育研究会 研究大会

大会全日程

1	受付(午前)	(事務室前).....	9:15~
2	授業参観	(各教室).....	9:45~10:35
3	学校見学	10:35~
4	昼食	(ランチルーム開放).....	11:30~12:15
5	受付(午後)	11:45~
6	開会行事	(体育館).....	12:15~12:45
7	記念講演	(体育館).....	12:45~14:30
8	分科会	(各分科会会場 p〇参照).....	14:40~16:30

公開授業

- 1 場 所 各教室
- 2 授業時間 2校時 9:45~10:35 (小学部は10:30まで)
- 3 授業一覧

学習グループ	教科等/单元名	授業者(TI)	場所
幼稚部		宮城綾乃	幼稚部
小学部1年		呉屋光	小1
小学部2年		石川えりな	小2
小学部3年		安里常幸	小3
小学部4年		新城木乃美	小4
小学部5年		宮城寛之	小5
小学部6年		東江紀幸	小6
中学部A	社会/	當山直樹	
中学部B1・2	美術/	伊良波愛理	
中学部CD1	数学/	饒波寛	
中学部CD2	国語/	政貴之	
高等部1年A	美術/	新垣晶子	
高等部1年B	美術/	野崎翔太	
高等部2年A	数学/	屋比久妙子	
高等部2年B	数学/	田名温	
高等部2年C	数学/	比嘉真吾	
高等部3年	理科/	比嘉伸哉	
高等部3年A	家庭/	仲村まゆみ	
高等部3年B	家庭/	喜瀬愛香	
高等部3年	社会/	安次富利恵	

開会行事 ※敬称略

司会：会長補佐 仲松 智（名護特別支援学校 教頭）

〈時間の目安〉

11:45	受付	
12:15	開会のことば	副会長 粟國 静夫（美咲特別支援学校 校長）
12:20	会長あいさつ	会 長 岡越 猛（名護特別支援学校 校長）
12:30	祝辞	名護市教育委員会教育長 岸本 敏孝 沖縄県教育庁県立学校教育課課長 崎間 恒哉
12:40	閉会のことば	副会長 與那覇 直樹（読谷中学校 校長）

記念講演

司会：会長補佐 仲松 智（名護特別支援学校 教頭）

〈時間の目安〉

12:45 **講師紹介** 評議員 赤嶺 信吾（名護特別支援学校 教頭）

12:50 **記念講演**

演題：特別支援における育成すべき資質・能力を育む教育
～知的障害児の各教科等を中心とした教育のすすめ～
おまけ 8段階による自閉症児の障害特性の見極め

講師：山形大学教職大学院教育実践研究科 教授 三浦 光哉 氏

14:20 **質疑応答**

14:25 **謝辞** 会長 岡越 猛（名護特別支援学校 校長）

14:30 各分科会会場へ移動

分科会

（14:40～16:30）

進行：司会係

	〈所要時間〉
1 開会のあいさつおよび紹介	10分
2 提案①	20分
質疑応答	15分
3 提案②	20分
質疑応答	15分
4 指導助言	25分
5 まとめ	5分
	〈計110分〉
6 閉会のあいさつ	

分科会各会場案内

第1分科会 「各教科等の指導（小学校段階）」……………	体育館
第2分科会 「各教科等の指導（中学校・高等学校段階）」……………	会議室
第3分科会 「各教科等を合わせた指導」……………	プレイルーム
第4分科会 「キャリア教育・進路指導」……………	高2-2
第5分科会 「自立活動」……………	小1教室
第6分科会 「交流及び共同学習」……………	小2教室
第7分科会 「ICT教育」……………	高自活室

分科会	テーマ	提案①	提案②	司会	記録	運営	指導助言
		特別支援学校	小・中学校				
1.各教科等の指導 (小学校段階)	各学年の学びの連続性と系統的な学習内容による教科別指導の在り方	島尻特支 比嘉 亜衣	中頭地区 小学校	はなさき支援 宇根底 誠	島尻地区 小学校	島尻地区 小学校	沖縄高等特別支援学校 校長 城間 政次
					長嶺中学校 柳井小百合	名護特支 根路銘 桃子	
2.各教科等の指導 (中学校・高等学校段階)	各学校間の学びの接続を意識した教科別の指導の在り方	宮古特支 池田 真紀子	西原中学校 仲間 清規	大平特支 宮城 直美	大宜味小学校 平田 夏記	美咲特支 宮國 陽子	沖縄県総合教育センター 指導主事
					大宜味中学校 上原 友子	名護特支 宮城 岬	
3.各教科等を合わせた指導	生活年齢に応じた生活に必要な生きる力の育成を目指した各教科等を合わせた指導	大平特支 照喜名 雅乃	名護小学校 比屋根 梨沙 比嘉 麻由子	みらい支援 赤嶺 太亮 武富 誉子	真和志小学校 具志堅 全諒	宮古地区 中学校	那覇みらい支援学校 校長 新垣 ゆかり
					安岡中学校 大城 有妃子 浦添中学校 長間 直子	名護特支 下門 正直	
4.キャリア教育・進路指導	義務教育段階からの一貫したキャリア教育の充実	名護特支 野原 小侑合	石垣第二中学校 小瀨 三枝 神山 豊	美咲特支 長嶺 春香	東中学校 平安 道晴	東小学校 知念 三幸	八重山特別支援学校 校長 稲田 洋一
					中頭地区 小学校	名護特支 城間 勇人	
5.自立活動	一人ひとりの教育的ニーズに応じた知的障害児に必要な自立活動の指導	美咲特支 城間 奈々子	糸満中学校 国吉 裕子	八重山特支 町田 静香	中頭地区 小学校	はなさき支援 又吉 潤	山形大学教職大学院 教育実践研究科 教授 三浦 光哉
					中頭地区 中学校	名護特支 安里 常幸	
6.交流及び共同学習	共生社会の実現に向けた交流及び共同学習	高等特支 新城 聖子	牧港小学校 永山 寛	西崎特支 竹中 敬喜	城東小学校 大城 貢	高等特支 登川 圭一	沖縄県教育庁 県立学校教育課 特別支援教育室 指導主事
					牧港小学校 野端 政之	名護特支 名嘉元 彩	
7.ICT教育	社会生活や日常生活への活用を促すICT教育に係る教員の質の向上	西崎特支 桑江 秀良	名護特支 森田 裕貴	島尻特支 君島 拓郎	大浜小学校 前本 香	那覇中学校 高良 奈緒子 仲西中学校 小脇 雅代	沖縄盲学校 校長 内間 秀樹
					潮平中学校 稲福 正美	名護特支 栄野川 択也	

議題①-4 研究大会当日 分科会関係者の主な流れ

時刻	内容	時間	場所・担当
11:30-12:15	昼食を兼ねて関係者打ち合わせ ※お弁当は事務局でご用意する予定です。	45分	各分科会会場
12:15-12:45	大会開会式	30分	体育館
12:45-14:30	記念講演 ～終了後連絡・各分科会会場へ移動	105分	体育館
14:40-14:50	分科会開会のあいさつ 助言者・提案者・司会者・記録者紹介、日程説明	10分	各分科会 運営員・司会者
14:50-15:10	提案者①	20分	提案者①
15:10-15:25	質疑応答①	15分	司会者
15:25-15:45	提案者②	20分	提案者②
15:45-16:00	質疑応答②	15分	司会者
16:00-16:25	指導助言	25分	指導助言者
16:25-16:30	まとめ・閉会のあいさつ	5分	司会者

※分科会の進行状況を見て質疑応答の時間を調整したり、休憩時間を取ったりしてください。

※分科会での提案者の順番は11月10(金)の分科会関係者会で相談して決定してください。

議題①-5 参加者集約用紙

第51回 沖縄県特別支援教育研究会 研究大会 参加者集約用紙
 (開催:令和5年12月15日(金)沖縄県立名護特別支援学校)

下記リンクまたは右掲のQRコードよりお申し込みください

<https://forms.office.com/r/6zQM3Ndcna>

申込〆切:令和5年11月27日(月)



	参加者氏名	所属	役職	公開授業 学校見学 参加○/不参加×	開会行事 参加○/不参加×	記念講演 参加○/不参加×	分科会 (①~⑦)	メールアドレス
例	沖縄 太郎	〇〇市立〇〇小学校	教諭	×	○	○	③	〇〇〇〇〇@open.ed.jp
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

※小・中学校は各地区・研究会で10名程度、特別支援学校は各校で10名程度(学部でなるべく均等に割り振り)の申込みをお願いいたします。

※大会役員・研究大会の係に割り当てられている会員の申込みは不要です。

※参加費500円を受付にて徴収させていただきます。

令和5年度 研究大会 来賓予定者氏名

	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	沖縄県教育委員会	教育長	半嶺 満	後援
2	義務教育課	課長	宮城 肇	
3	県立学校教育課	課長	崎間 恒哉	祝辞原稿依頼 開会式祝辞
4		特別支援教育室長	浦崎 達夫	
5	名護市教育委員会	教育長	岸本 敏孝	後援 祝辞原稿依頼 開会式祝辞
6	沖縄県立総合教育センター 特別支援教育班	班長	井手 一宏	
7	沖縄県立沖縄盲学校	校長	内間 秀樹	
8	沖縄県立沖縄ろう学校	校長	大城 麻紀子	
9	沖縄県立桜野特別支援学校	校長	津波 佳和	
10	沖縄県立泡瀬特別支援学校	校長	田盛 信寿	
11	沖縄県立鏡が丘特別支援学校	校長	上運天 滋	
12	沖縄県立那覇特別支援学校	校長	下地 直子	
13	沖縄県立森川特別支援学校	校長	岩崎 政志	
14	沖縄県情緒障害教育研究会	会長	平良 全	後援 潮平小校長
15	沖縄県特別支援学校PTA協議会	会長	上江洲 優貴	後援 鏡が丘特支 保護者
16	沖縄県立名護特別支援学校	PTA会長	大川 聡	
17		PTA副会長	宮平 鮎美	
18	県立学校教育課 特別支援教育室	指導主事	長谷川 智子	
※該当する所属が、本会役員および評議員の場合は来賓としない。				

19	琉球大学 教育学研究科 高度教職実践専攻	准教授	城間 園子	
----	----------------------	-----	-------	--

議題②-1 次年度以降の研究会運営について①

●那覇地区小学校・浦添地区小学校・那覇浦添地区中学校教育研究会の支部合併について(令和5年8月25日)

1. 会則の改訂に関する提案

項目	旧	新
第1章総則 (支部) 第4条	本会の支部は知的障害教育を行う各特別支援学校、八重山、宮古、島尻、那覇(小学校)、浦添(小学校)、那覇・浦添(中学校)、中頭、国頭の各地区におく。なお、必要に応じてその他の支部をおくことができる。	本会の支部は知的障害教育を行う各特別支援学校、八重山、宮古、島尻、 那覇・浦添 、中頭、国頭の各地区におく。なお、必要に応じてその他の支部をおくことができる。
附則		この会則は令和6年4月1日から施行する。

2. 支部構成について

- ・支部長
 - ・副支部長
 - ・副支部長
 - ・評議員(2~3名)・・・各地区(小中)の教諭
- } 那覇地区小学校(校長)・浦添地区小学校(校長)、那浦地区中学校特別支援教育研究会代表が輪番で担当する

【那覇・浦添地区 知的障害特別支援学級設置校 役員名簿(例年)】

地区名	区分	役職名	氏名	学校名	職名
浦添	小	支部長			校長
		評議員			教諭
		評議員			教諭
		評議員			教諭
那覇	小	支部長			校長
		評議員			教諭
		評議員			教諭
		評議員			教諭
那覇・浦添地区中学校特別支援教育研究会	中	研究会代表			校長
		評議員			教諭
		評議員			教諭
		評議員			教諭

【R6年度 那覇・浦添支部 役員名簿案】

地区名	区分	役職名	氏名	学校名	職名
那覇・浦添	小	支部長		浦添地区小学校	校長
	中	副支部長		那覇地区中学校 特別支援教育研究会代表	校長
	小	副支部長		那覇地区小学校	校長
	小	評議員			教諭
	中	評議員			教諭

3. 確認事項

- ①組織の再編は令和6年度からとする。
- ②支部の呼称は「那覇・浦添支部」とする。
- ③令和10年度までの分科会割当は議決済なので変更はしない。
令和11年度以降に新地区名(那浦地区小学校・那浦地区中学校)で表記する。
- ④次年度以降提案する分科会係(提案者以外)の表記は「那浦地区小学校・那浦地区中学校」と表記する。
- ⑤分担金の納入は現行通りで行う。

※上記の内容を第2回評議員会にて役員に提案し可決されたら、令和6年から実施する。

議題②-2 次年度以降の研究会運営について②

● 次年度の事業計画について

令和4年度の資料より

	第1回 評議員会	総会	第2回 評議員会	分科会 関係者会	研究大会	第3回 評議員会
日程	5-6月頃	7月頃	10月頃	10-11月頃	11-12月頃	2月頃
議題 (定例)	・役員体制 ・事業報告 ・会計報告 ・事業計画 ・予算案 ・研究大会	・役員承認 ・事業報告 ・会計報告 ・事業計画 ・予算案 ・会計進捗 ・研究大会	・研究大会 ・会計進捗 ・日程確認	分科会 打ち合わせ	開会行事	・大会報告 ・反省 ・事業報告 ・会計報告 ・事業計画 ・予算案
議題 (その他)	・沖特研運営 について ・九特連、全 特連について	・九特連、全 特連について	・次年度の研 究会運営に ついて ・九特連につ いて			・引継ぎにつ いて
研修・ 研究事業	研修会	記念講演	研修会	研修会	記念講演 分科会	研修会
備考		8月九特連研 究大会予定 (R6年度)				

- ・重複する議題はあるが、総会決議のため事前に評議員会での意見集約と議論が必要である。
- ・分担金の徴収方法を考えると、その都度、納入状況を確認する機会が必要である。
- ・次年度以降の運営の改善策について協議する機会が必要である。
- ・反省や意見を運営に反映させるため、研究大会後の評議員会も重要である。

次年度以降も同様の設定で事業を計画する

● 実施方法について

- ・令和3年度、4年度においては新型コロナウイルス感染予防の観点から完全オンラインでの開催となった。
- ・令和5年度は新型コロナウイルス5類移行を踏まえ、評議員会等はオンラインと参集型のハイブリッド式で開催、研究大会は参集型での開催。

・次年度案

	第1回 評議員会	総会	第2回 評議員会	分科会 関係者会	研究大会	第3回 評議員会
日程	5-6月頃	7月頃	10月頃	10-11月頃	11-12月頃	2月頃
実施方法	ハイブリッド or オンライン 開催	ハイブリッド or オンライン 開催	ハイブリッド or オンライン 開催	オンライン	参集型	ハイブリッド or オンライン 開催
研修・ 研究事業	研修会	記念講演	研修会	研修会	記念講演 分科会	研修会

事務局で検討している事項

- ・評議員会等において出張扱いにならない(旅費が出ない)支部もあるのでできるだけオンラインを活用したい。
- ・研究大会においては、公開授業、記念講演として直接講師からのご講演、分科会にて顔を見合わせて協議ができる機会としたい。→参集型
- ・会員の特別支援教育の専門性の向上に資するため、評議員会等における研修の機会は確保したい。
- ・第1回評議員会では議題にかける時間を多く設けられるようにする。
 - 第1回評議員会なので顔合わせをする機会をつくるため、来れる人に来てもらえるようにする。
 - この時の研修会は、評議員会前に動画視聴や学校見学にするなどで対応する。

※予算の関係から

- ・旅費および謝礼金をできるだけ抑えた研修会の実施。
- ・県外からの招聘は多くても1回(研究大会が望ましい)→R6年度は12月に綿貫先生招聘予定。
- ・研究大会参加費について→持続可能な研修会のため、参集型で研究会を行うなら参加費徴収は必要。

議題②-3 次年度以降の研究会運営について③

●第3分科会「各教科等を合わせた指導」におけるテーマの一部変更について

テーマ一部変更の理由

- ・今次の学習指導要領によって、知的障害教育において各教科等における資質・能力を確実に育成するため、より一層「教科別指導」が重視されていることから、県内知的特別支援学校において指導の形態として「各教科等を合わせた指導」を実践している学校が減少していること。

○テーマ変更前

第3分科会「各教科等を合わせた指導」

↓

○テーマ変更後

第3分科会「各教科等を合わせた指導/教科等横断的な学習」

○各教科等を合わせた指導について

特別支援学校学習指導要領解説では、「知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校においては、児童生徒の学校での生活を基盤として、学習や生活の流れに即して学んでいくことが効果的であることから従前より、日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習などとして実践されてきており、それらは「各教科等を合わせた指導」と呼ばれている。」とされている。

【学校教育法施行規則第130条第2項】

特別支援学校の小学部、中学部又は高等部においては、知的障害者である児童若しくは生徒又は複数の種類の障害を併せ有する児童若しくは生徒を教育する場合において特に必要のあるときは、各教科、道徳、外国語活動及び自立活動の全部又は一部について、合わせて授業を行うことができる。

→知的障害のある児童生徒に対して効果的な指導を進めるため、各教科・領域等を分けずに、これらの一部又は全部を合わせて指導を行う指導の形態である。

児童生徒の知的障害の状態、生活年齢、学習状況や経験等に即し、学習指導要領解説 p31 に示されている【各教科等を合わせた指導の特徴と留意点】を参考にして指導計画を立てる。

以下に遊びの指導を例として、示す。

例えば



お友達と関わって遊ぶ経験が少ない

仲間とのかかわり

身体活動を活発に

遊びの指導

意欲的な活動

心身の発達を促す

生活科

体育科

国語科

算数科

音楽科

自立活動

各教科等に関わる広範囲の内容

※このとき各教科等で育成を目指す資質・能力を明確にした上で特別支援学校小学部・中学部学習指導要領第1章第4節の1の(1)主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に留意しながら、効果的に実施していくことができるようにする

各教科別の指導につながるようにすること、諸活動に向き合う意欲、学習面、生活面の基盤となるよう計画的に指導する。

評価の場面：単元で取り扱った全ての教科の内容が達成すべき目標となる。

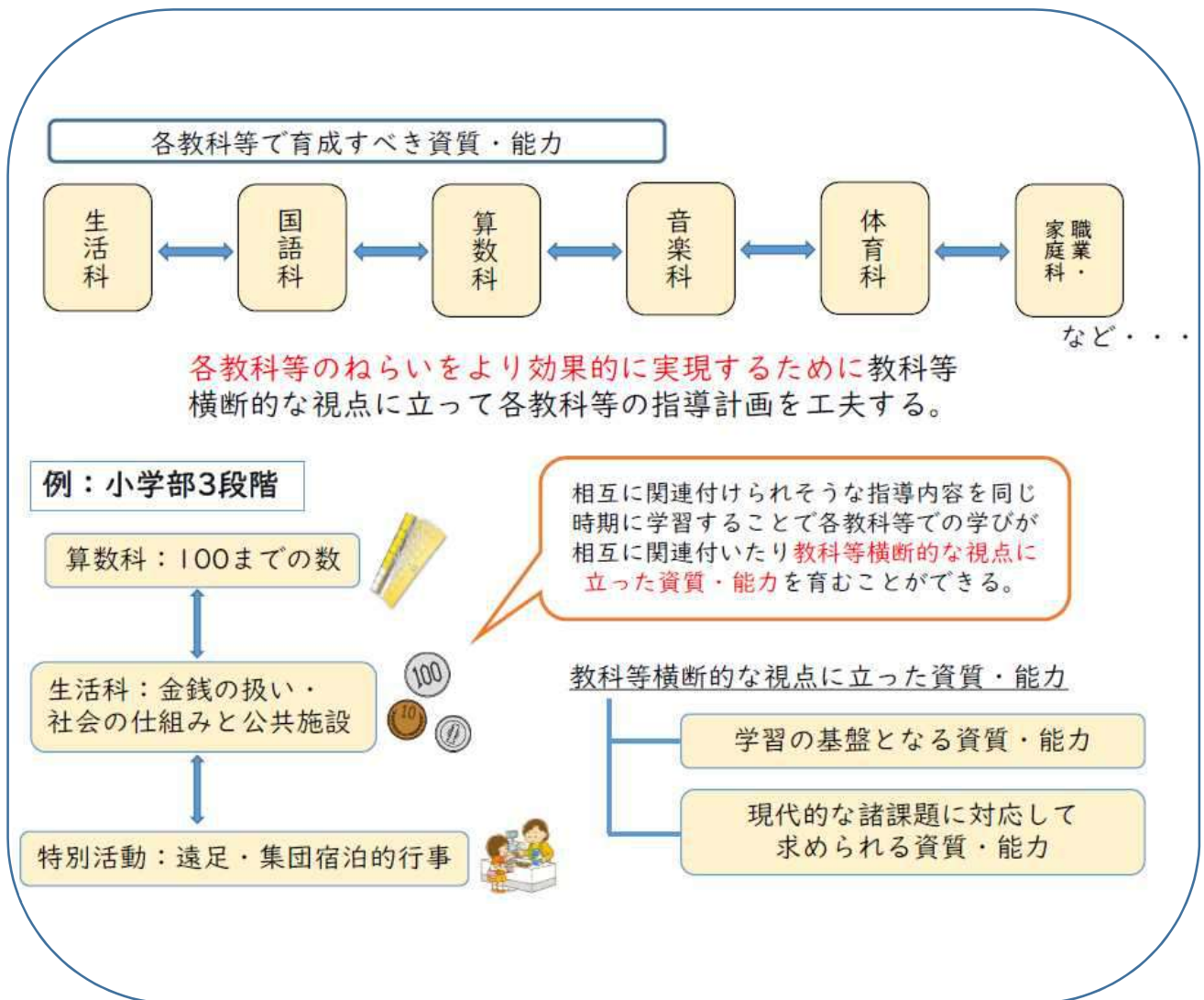
○教科等横断的な学習について

教科等横断的な指導を推進していくための具体的な工夫として合科的・関連的な指導を進めること。

小学校学習指導要領には合科的・関連的な指導について

第1章第2の3の(3)「エ 児童の実態等を考慮し、指導の効果を高めるため、児童の発達の段階や指導内容の関連性を踏まえつつ、合科的・関連的な指導を進めること」

→教科等間の連携を図った指導を行い、教科のねらいをより効果的に実現するための指導方法の一つである。



評価の場面：教科ごとにその教科の内容のみが達成すべき目標となる。

「各教科等を合わせた指導」と「教科等横断的な学習」について、
違いを踏まえたうえで実践の提案をする。

連絡事項 1 会計進捗

令和5年度 沖縄県特別支援教育研究会 中間報告書 (9/28進捗)

I 一般会計

収入の部	1,264,653 円
支出の部	562,349 円
差引残高	702,304 円

1. 収入の部

	費 目	予 算 額	中 間 額	増 減	摘 要 ・ 備 考
1	沖特研会費 (分担金)	316,800	630,650	5,600	1,064学級 (小中591、特支473) 【R4_1056学級】 ※全市町村・学校から徴収中 (9/29現在 97%納入済)
2	全特連分担金	211,200			
3	九特連分担金	97,050			
4	大会資料費 (参加費)	197,500	0	(197,500)	参加者一人あたり500円 オンデマンド参加の場合は、振込(振込手数料自己負担)入金確認後URL送付
5	寄付金	0	0	0	
6	繰越金	634,000	634,000	0	
7	その他	0	3	3	利息
	合 計	1,456,550	1,264,653	(191,897)	

※ 分担金納入状況については「【資料】令和5年度 沖特研 分担金納入状況」を参照

2. 支出の部 9/28現在

	費 目	予 算 額	中間額	残 金	摘 要 ・ 備 考
1	印刷費	100,000		100,000	研究収録印刷 (インク代を含む)
2	報償費	60,000		60,000	講師謝礼金等 (記念講演)
3	大会運営費	140,000		140,000	白紙、役員弁当、盛り花、諸経費
4	通信費	60,000	45,014	14,986	切手、郵送料、zoom契約料等
5	会議費	5,000	665	4,335	湯茶、菓子代
6	旅費	110,000	131,068	△ 21,068	会計監査、講師等旅費
7	事務費	40,000	27,385	12,615	事務用品代
8	全特連分担金	259,000	259,417	△ 417	次年度の徴収額を250/学級とする。 ※振込手数料417円を含む
9	九特連負担金	98,700	98,800	△ 100	※振込手数料100円を含む
10	予備費	582,850		582,850	※全特連大会視察旅費、九特連派遣補助※1
11	積立費	1,000		1,000	次回九特連沖縄大会積立金
	合 計	1,456,550	562,349	894,201	

※1 年度当初は発表者はリモートでの参加であったが、年度途中に対面での参加に変更になったため

II 九特連大会積立金

令和5年度九特連研究大会 (沖縄大会) 積立金	1,690,896	※令和5年度末までの合計額
-------------------------	-----------	---------------

※ R5年度末の積立金は1,690,896円です。

※ 7年後の九特連沖縄大会への積み立て金となります。

令和5年度 沖特研 分担金納入状況 (No.1)

2023/9/28 97%

特別支援学校				市町村教育委員会			
	納入日	金額		納入日	金額		金額
1	5/26	19,250	1	5/25	1,950	国頭村教育委員会	
2	6/6	43,250	2	6/5	1,300	大宜味村教育委員会	
3	5/29	31,250	3	6/8	650	東村教育委員会	
4	6/5	37,250	4	6/5	3,900	今帰仁村教育委員会	
5	6/14	13,250	5	6/1	5,200	本部町教育委員会	
6	6/8	7,750	6	6/9	20,800	名護市教育委員会	
7	6/6	25,750	7	6/8	1,950	宜野座村教育委員会	
8	5/24	8,250	8	6/22	5,200	金武町教育委員会	
9	6/13	22,250	9	5/29	1,950	伊江村教育委員会	
10	5/31	1,950	10	5/22	650	伊平屋村教育委員会	
11	5/23	1,950	11	5/25	1,300	伊是名村教育委員会	
12	6/8	3,750	12	6/5	4,550	恩納村教育委員会	
13	6/5	3,900	13	5/29	38,350	うるま市教育委員会	
14	6/15	26,750	14	6/22	8,450	読谷村教育委員会	
246,550					嘉手納町教育委員会 学校毎納入(No.2参照)		
学級数	特別支援学校 473 小中学校特別支援学級 494 那覇市立小学校特学(知的) 68 那覇市立中学校特学(知的) 29 1064	小中合計 591	15	6/26	39,000	沖繩市教育委員会	
			16	6/1	6,500	北谷町教育委員会	
			17	6/9	26,000	宜野湾市教育委員会	
				北中城村教育委員会 学校毎納入(No.2参照)			
			18	6/12	3,900	中城村教育委員会	
			19	6/22	8,450	西原町教育委員会	
				那覇市教育委員会 学校毎納入(No.2参照)			
			20	6/14	18,850	浦添市教育委員会	
			21	6/28	5,200	久米島町教育委員会	
			22		0	南大東村教育委員会	該当学級なし
			23	5/22	1,300	北大東村教育委員会	
			24	5/29	13,000	豊見城市教育委員会	
			25	6/8	22,100	糸満市教育委員会	
			26	6/2	11,700	南城市教育委員会	
27	5/31	6,500	八重瀬町教育委員会				
28	5/26	5,850	与那原町教育委員会				
29	7/27	6,500	南風原町教育委員会				
30		0	渡嘉敷村教育委員会	該当学級なし(8/25)			
31		0	座間味村教育委員会	該当学級なし(7/18)			
32	5/18	650	栗国村教育委員会				
33		0	渡名喜村教育委員会	該当学級なし			
34	6/2	18,850	宮古島市教育委員会				
35	5/24	1,300	多良間村教育委員会				
36	6/13	16,900	石垣市教育委員会				
37	7/25	3,250	竹富町教育委員会				
38	5/26	1,300	与那国町教育委員会				

令和5年度 沖特研 分担金納入状況 (No.2)

2023/9/28 97%

那覇市小学校				那覇市中学校			
	納入日	金額		納入日	金額		金額
1	曙小学校	6/8	1,500	1	安岡中学校	6/5	1,300
2	安謝小学校	5/26	1,300	2	首里中学校	6/2	650
3	城東小学校	6/21	1,150	3	真和志中学校	7/24	650
4	城北小学校	6/30	1,300	4	石田中学校	7/31	1,300
5	城西小学校	6/23	650	5	松城中学校	7/5	650
6	城南小学校	6/1	650	6	那覇中学校		
7	真嘉比小学校	7/21	1,300	7	上山中学校	5/22	1,300
8	泊小学校	6/23	1,300	8	神原中学校	7/20	1,300
9	大道小学校	5/30	1,950	9	寄宮中学校	9/1	1,300
10	松川小学校	6/20	1,300	10	古蔵中学校	6/26	1,300
11	識名小学校			11	小禄中学校	5/19	1,300
12	壺屋小学校			12	松島中学校	7/19	1,300
13	若狭小学校	5/19	650	13	城北中学校	7/21	1,300
14	天久小学校	5/19	650	14	若夏分校	9/11	650
15	那覇小学校	6/2	1,300	15	鏡原中学校	7/24	1,950
16	神原小学校	6/7	1,200	16	仲井真中学校	6/6	650
17	真和志小学校	7/25	3,900	17	金城中学校	5/29	650
18	与儀小学校	7/26	1,300	18	石嶺中学校	7/12	1,300
19	城岳小学校	7/20	1,950				
20	天妃小学校	5/22	1,300				
21	開南小学校	7/31	650				
22	小禄小学校	6/22	1,300				
23	高良小学校	8/29	1,300		北中城村小中学校	納入日	金額
24	宇栄原小学校	6/6	1,300	1	北中城小学校	5/26	3,250
25	松島小学校	5/23	1,300	2	島袋小学校		
26	古蔵小学校	6/27	1,300	3	北中城中学校		
27	大名小学校	6/28	650				
28	上間小学校	7/21	1,300				
29	石嶺小学校	6/12	1,300				
30	仲井真小学校	6/7	1,300		嘉手納町小中学校	納入日	金額
31	金城小学校	8/4	1,300	1	嘉手納小学校	5/30	1,300
32	小禄南小学校	6/30	1,950	2	屋良小学校	5/30	1,300
33	真地小学校	5/19	1,300	3	嘉手納中学校	6/13	1,950
34	さつき小学校	6/20	1,300				
35	銘苺小学校	6/14	1,300				
36	垣花小学校	5/26	650				

連絡事項② 今後の日程確認

9月12日(火) 提案者の氏名報告メ切
9月19日(火) 分科会系の氏名報告メ切

10月13日(金) 第2回評議員会・研修会③(オンライン開催) 15:15開始 本日

※9/13【沖特研第26号】で参加依頼文発送済み
※欠席・委任される場合は本研究会 HP の専用フォームにてご連絡ください(10/6まで)

10月19日(木)・20日(金) 全特連研究大会〈徳島大会〉※事務局より派遣あり

10月20日(金) 提案者の原稿メ切

※8/25【沖特研第24号】で提案者の氏名報告及び原稿の執筆依頼文発送済み

10月23日(金)沖特研研究大会二次案内発送予定

いつもの開始時刻と異なりますのでご注意ください

11月10日(金) 研究大会分科会関係者会・研修会④(オンライン開催) 15:00開始

※10/10に各係本人および所属長に参加依頼文郵送予定

12月1日(金) 九特連研究大会〈福岡大会〉※沖縄より2名派遣

12月4日(月)提案者の発表用スライドの提出メ切

※事務局で動作確認

12月15日(金) 第51回沖特研研究大会(名護特別支援学校にて開催)

12月28日(木) 分科会の記録メ切

1月 大会集録の編集・製本
2月 大会集録の配布・公開

2月22日(木) 第3回評議員会・研修会⑤

連絡事項② そのほか

・分科会提案原稿メ切 10/20（金）まで

-各地区・研究会・学校の評議員より改めて提案される先生へのご連絡とご確認をお願いいたします。

・分科会関係者会および研修会④ 11/10（金）15:00～（14:45 会場）

-Zoom ミーティング

-研修会④では綿貫先生のご講演②を行います。本日の研修の続きとなりますので、分科会関係者以外の評議員の皆さまも研修会④へのご参加をよろしく願います。

※分科会関係者以外の評議員の皆さまへの参加依頼文も発送いたします。

-分科会の関係者の皆さまは、ブレイクアウトルームを使って各分科会での打ち合わせを行うため校内で複数名の参加者がいる場合は1人1台のPCをご準備ください。

-当日の打ち合わせを兼ねておりますので、必ずご出席いただくようお願いいたします。

-以上の旨、各地区・研究会・学校の評議員より、係に割り振られた先生へご連絡とご確認をお願いいたします。

・次年度の九特連研究大会〈佐賀大会について〉

-日時：令和6年8月2日（金）

-ハイブリッド型研修会（参集とオンライン）※提案者は現地派遣の可能性あり

-提案者の割り当て※6月22日（九特連第1回評議員会）現在

小中学校：第2分科会「各教科等の指導（中学校・高等学校段階）」

（令和6年度沖特研割り当て国頭地区中学校）

特別支援学校：第5分科会「自立活動」

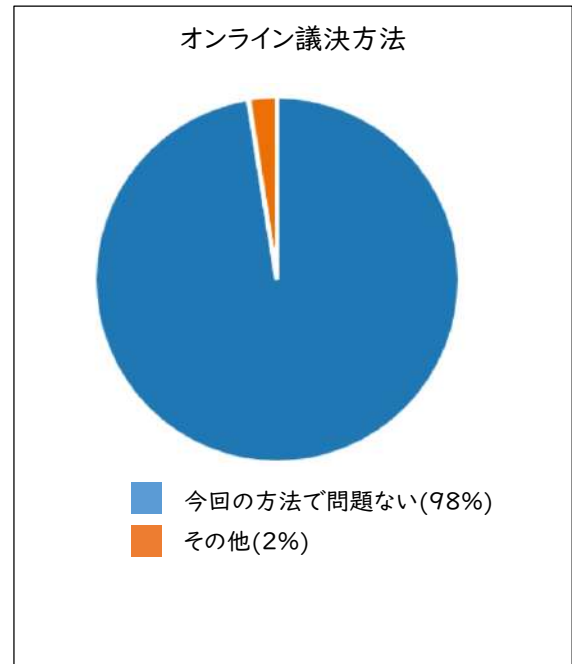
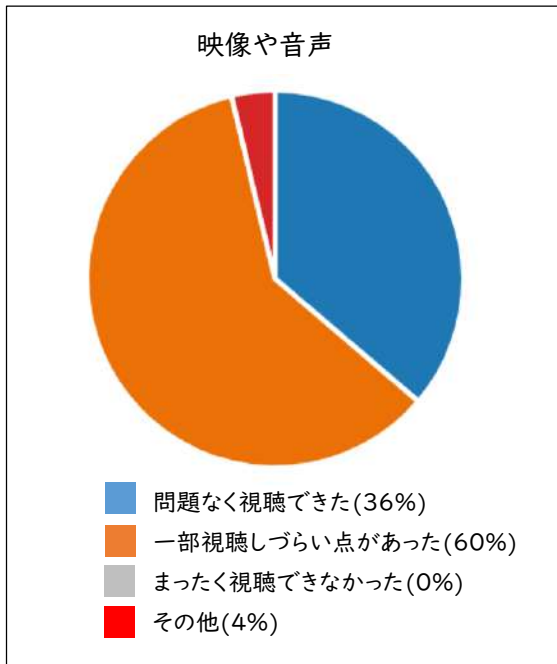
（令和6年度沖特研割り当て美咲特支）

※10月26日（木）に九特連第2回評議員会があります。

その中で次年度九特連研究大会について改めて提案があると思うので、それを経て評議員の皆さまには再度周知したいと思います。

研修会の平均評価：4.29/5

オンライン参加者125名（一端末につき複数視聴含む）、来校者68名、委任 38 名



【映像や音声について】

・ほぼ問題なく視聴できましたが、総会の時、会場からの質問者の声が聞こえませんでした。司会の方が質問内容を復唱していただけたらと思いました。

→ご指摘ありがとうございます。こちらの配慮が足りず申し訳ありませんでした。今後必要に応じてそのように対応していきたいと思います。

※今回 Zoom のパスコードと ID の変更があり、お手数をおかけしました。事務局よりその都度参加者へはメールをお送りしておりますのでご確認いただけますと幸いです。

【研修会講師へのご感想・ご質問】

- ・ 小学校での支援が必要な児童が増えていることが分かりました。年々、支援学級も増えてきているので今後どうなっていくのかなと思いました。
- ・ 貴重な時間をいただきました。ありがとうございました。
- ・ 指導書、解説本の紹介希望します。
- ・ とても講話が聴きやすく、わかりやすかったです。学習指導要領を基に全てを網羅するよう年間指導計画を立てることはできていますが、学校の特色は学習内容を踏まえながら学習活動で出すようにするとよいのだと感じました。交流及び共同学習や地域との連携の進め方に見通しが持てました。ご多忙中、遠方よりいらしていただき、貴重なお話を聴かせていただきありがとうございました。
- ・ 評価に関して確認が出来て良かったです。
- ・ 合わせた指導の問題点等が分かり勉強になりました。私も自己研鑽を深めたいと思います。
- ・ 最近の動向や知的障害教育について、詳しく説明されていたのでわかりやすかったです。ありがとうございました。
- ・ 大変すばらしかったです。
- ・ 合わせた指導での評価の仕方、とても勉強になりました。

- ・ 学び多い内容で、大変勉強になりました。
- ・ 特別支援学級での指導のあり方を考えさせられました。各教科等を合わせた指導の評価を学校で統一した評価規準を作成していきたいです。講話ありがとうございました。
- ・ 「各教科等を合わせた指導」について間違った捉え方をしていたので、今回の講演を聞くことができて勉強になりました。ありがとうございます。
- ・ 指導と評価について、もっと勉強していきたいです。
- ・ 評価規準に関して「こどもの視点で見直す」視点がたいへん参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 最近の動向から知的障害における学習する内容、各教科の段階、学習する内容と学習活動の整理など、わかりやすく説明下さりありがとうございました。また各教科等を合わせた指導の捉えで陥りがちな視点を的確にご教示下さったのも参考になりました。自分なりに再考して整理したいと思います。大変有意義な講演で時間もあっという間に感じました。ありがとうございます。
- ・ 教科の目標設定や評価について具体的に話していただきわかりやすかったです。
- ・ とても参考になりました。
- ・ 事務局の皆さん、会場校の先生方、大変お疲れさまでした。オンラインでの参加でしたが、文部科学省の調査官からの貴重な講話を聴くことができて嬉しく思います。ありがとうございました。もし可能であれば、公立小中学校の先生方も参加されているので、公立小中学校における指導法や評価等をお話しして頂きたかったです。
- ・ 今日はありがとうございました。
- ・ 合わせた教科の教科科が、よくわかりました。評価規準は変わらないが、評価基準は、学年や関わり先生方でよく協議する必要があるかと思いました。通知表等で、保護者に伝達する場合は、個別の教育支援計画、指導計画との連動も考えなくてはと感じました。お忙しい中、ご講演ありがとうございました。
- ・ 評価の仕方についてとても勉強になりました。
- ・ わかりやすく、とても勉強になりました。
- ・ 色々な学びの場を柔軟に対応するには、職員の数も必要で、教育にかけるお金が必要だと思います。受け持つ児童の親からも、本当は普通小学校に行きたかったけれど、通うならお母さんが付き添わないといけなくて、と言われて特別支援学校に来たと話していたことが頭に浮かびました。保護者の負担にならないような、満足のいく学びの場が色々な形で設定できたらいいな、と感じます。
- ・ 今後は障害の重度な生徒への教科指導についての考え方や事例、資料などの充実が、課題になりそうと思いました。卒業後の姿を見通した小学部段階からの指導が必要になりそうです。
- ・ 名護特別支援学校 校長先生はじめ事務局の皆様、準備・運営と大変お疲れ様でした。特別支援教育の動向についても、加藤調査官の御講話で多くを学ぶことができました。ありがとうございます。
- ・ ありがとうございます。
- ・ 評価規準について分かりやすく知ることができてよかった。
- ・ 大変勉強になりました。今年度初めて特別支援学級を持つことになり、これからの学級経営や学習指導に活かしていきたいです。お忙しい中貴重なお時間ありがとうございました。
- ・ 授業の適切な評価、段階を上げて指導いく難しさを感じた。
- ・ 沖縄では特別支援学級の児童生徒の割合が全国以上に増加していますが、どう感じられますか。
- ・ 学習内容と具体的な指導内容についての捉え方など、疑問に思っていたので大変参考になりました。障害の重度な生徒の教科への移行の仕方も全体で確認できたので良かった。
- ・ 全ての障害のある児童が通常学校で教育を受ける権利があることを知り、国がそれを保障しなければならないことがわかりました。
- ・ 評価規準、指導形態、「各教科等を合わせた指導」の評価について、普段、職員から漏れてくる疑問について、解説していただき大変有難かったです。また、評価の妥当性・信憑性についても、本校でも議論を進めていき、たくさんの事例を蓄積・共有していきたいと感じました。本日は、ありがとうございました。
- ・ 「これからの特別支援教育の動向」ということで、大切な話しを聞く事ができありがたく思います。特に評価についての部分では、ちょうど悩んでいたところだったので、参考資料などを基にしっかり勉強したいと思います。また指導の形態や、効果的な指導方法の工夫、各教科を合わせた指導など、授業改善できる点が多くみつけることができました。ちょうど夏休みなので、今日の資料を再度読み直ししながら、よりよい授業ができるように学ぶ時間にしようと思います。本日の講演大変ありがとうございました。
- ・ 活動内容の整理についてのお話がとても印象に残りました。活動ありきになってしまわないよう、個人の実態をしっかりと把握し、身につけたい力から内容を精撰して活動、取り組みへとつなげる計画段階がとても重要だということを感じました。学校へ持ち帰り、共有して先輩方のアドバイスをいただきながら計画の見直しを行いたいと思います。

- ・ 貴重な公演内容でした。ありがとうございました。
- ・ インクルーシブから評価の話まで、分かりやすかったです。特に評価規準の内容は、ストンと腑に落ちました。
- ・ 正直、難しく十分に理解できていない気がする。ただ、先に指導したい内容や目標を決め、達成するにはどのような指導法が効果的かと考えた時、一例として「買い物学習」や「栽培活動」があるということなのだろうか。
- ・ 夏休み期間中に児童個々の実態を把握して客観的な評価・指導内容や方法を探っていきたいと思いました。ご講話ありがとうございました。
- ・ 教科横断的指導と合わせた指導の違いがよく分かり、とても参考になりました。
- ・ 学習内容と指導内容など「内容のまとめ」を混同していたので、分かりやすい説明とてもありがたかったです。
- ・ 講演会、ありがとうございました。
- ・ 初めて知的担当になり、年間計画、学習内容、活動内容等、見直す時期だったので、大変有意義な研修となりました。ありがとうございました。
- ・ 今年始めて知的クラスを受け持っています。「多様な学びの場」の再確認と「学びの連続性」は、必要なことだと思っているのでこの夏休みで一人ひとりの支援計画・指導計画を見直します。今日は、ありがとうございました。
- ・ インクルーシブ教育への先生方の理解がまだまだ不足しているように感じています。学校内で理解促進のため今後も取り組んでいきます。
- ・ 学習指導要領が目指している学びがどのような学びなのかよくわかりました。各学校で行われている活動から指導内容をたどっていくのではなく、指導内容(資質・能力)からどんな活動を行なっていくかを考えることを村内の先生方と共有していきたいと思います。外部の受講受け入れていただき感謝申し上げます。
- ・ 再確認できる、特別支援教育の全内容が盛り込まれており、大変貴重な研修でした。ありがとうございました。
- ・ 大変勉強になりました。情緒学級に在籍している子どもたちの学びがきちんと保障されているのか確認しながら、現状を改善していく必要性を感じました。ありがとうございました。
- ・ これを教えたいから、どんな活動にするか考える。逆ではない。充分学べているなら、学びの場は変更が必要。
- ・ 記念講演では、文部科学省の加藤調査官から特別支援教育の現状や最近の動向、知的障害教育における学習評価について詳しいお話を聞かせていただきとても参考になりました。このような機会を設定していただきありがとうございました。
- ・ 講師へ事前質問をフォームで送りましたが、その回答の有無をしりたいです。

【事前質問】

国連のインクルーシブ教育の指摘から、今後22条の3に該当する児童生徒が普通小・中学校に増えると予想できます。現在も増えてきています。そうした中で、普通校の場合、特別支援学級を含め担任の専門性を高めることは重要な課題と言えますが、どのような対策等がありますでしょうか。

→記念講演資料p26「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議報告(概要)」の方で触れられておりましたが、文部科学省のホームページの「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議報告」(別添1)のp14~具体的な方向性としていくつか示されております。ご確認ください。

【運営についてのご意見・ご感想】

- ・ 特別支援学級を担当し、3年目となりますが、学習内容と学習活動の捉え方を今一度見直してみる良い機会となりました。また、評価においてもまだまだ学ぶべき事が多く、学習指導要領の熟読をこの夏休みに行います。たくさんの気づきと刺激をありがとうございました。
- ・ 令和28年度までの輪番表が出ていることに驚いた。担当校の負担増にならないよう、年度ごとに運営方法、事業規模の見直しが必要かと感じた。
- ・ だれでも参加できる機会を設けて下さりありがとうございます。
- ・ 係の皆様お疲れ様でした。
- ・ スムーズな総会でした。お疲れ様でした。
- ・ ハイブリットで良い。
- ・ テンポ良く進んで良かった。
- ・ 資料もあり投票方法も簡単にできたのでよかった。
- ・ 一部映像のトラブルがありましたが、スムーズな対応ありがとうございます。
- ・ オンラインのトラブルも最小限に留めていただき、とても聴きやすかったです。ありがとうございました。
- ・ 段取りがスムーズで良かったです。
- ・ 多忙の中、準備、運営、本当にお疲れさまでした。
- ・ 円滑な進行でした。準備などおつかれさまでした。

- ・ いつも運営ありがとうございます。
 - ・ 今回のような運営でいいと思います。
 - ・ 運営校の先生方お疲れ様でした。総会の決議の際は、早くて追いつくのが大変でしたが、総会が早く終わったので、良かったと思います。
 - ・ 滞りのないように、多くの職員の配慮があり、大変よかったです。ありがとうございました。
 - ・ 特別支援教育の現状や最近の動向、知的障害教育における学習評価について詳しいお話を聞かせていただきとても参考になりました。本校ではすでに生単など合わせた指導は行われていませんが、各教科の目標設定や評価規準の作成など、作成例を踏まえた説明を聞かせていただき、実際に評価をしながらもやっていたものが改めて整理できたと思います。
 - ・ 今後の特別支援教育の中でも、通級指導教室の大切さがお話しされていたと感じました。県でもその方向が示されると思います。
 - ・ 総会資料はダウンロードできましたが、講演会の資料がダウンロードできませんでした。添付ファイルでは難しいでしょうか？できればメールに資料添付して欲しい。
- 資料の容量が大きく、メールでの送付ができなかったため、今回はクラウドにあげて共有、各自でダウンロードする形を取りました。今後も、このような形で資料を配付することが想定されます。ダウンロードを事前に試み、できない場合は事務局にご連絡いただけますと幸いです。**
- ・ ほぼ問題なく視聴できましたが、総会の時、会場からの質問者の声が聞こえませんでした。司会の方が質問内容を復唱していただけたらと思いました。
- ご指摘ありがとうございます。こちらの配慮が足りず申し訳ありませんでした。今後必要に応じてそのように対応していきたいと思います。**

出席確認およびアンケート

以下のQRコードまたはURLからご回答下さい。回答は5分程度で完了します。ご協力をお願いいたします。なおここで集めた情報は、本研究会の運営以外の目的では一切使用いたしません。また頂戴した回答については、後日集約して大会ホームページにて公開いたします。




<https://forms.office.com/r/yP6Mf7YGPr>


問い合わせ


令和5・6年度 沖縄県特別支援教育研究会 事務局

事務局長 諸見里 知恵 会計 田名 温 情報 呉屋 光

 名護市字茂佐760 沖縄県立名護特別支援学校内

 okitokuken@as.open.ed.jp

 0980-52-0505

 0980-54-1486

 <http://www.okitokuken-as.open.ed.jp>

